

山本高司	川崎地質	東京支店技術部
広瀬幹夫	関電工電力	本部地中線部
嶋田文夫	長谷川工務店	建設事業部施工計画工事計画チーム
大月隆行	中国コンクリート工業	
中村駿平	九州電力	総合研究所土木研究室
寺石弘	四国電力	建設部土木課
林隆博	東日本航空	東京本部
北川修司	森組土木工事部	工事課
土井博司	森組土木部	

学 生 会 員

萩野光誠	日本大学生産工学部土木工学科
持丸章治	同 上
富塚昭彦	同 上
針金一志	同 上
豊浦幸彦	同 上
橋本章宏	同 上
武田佳朗	同 上
館島智輝	同 上
吉田雅彦	同 上
椎名弘文	同 上
本杉文修	同 上

中三肇	日本大学生産工学部土木工学科
山口剛	同 上
竹内啓幸	同 上
中山敬一	同 上
望月敏弘	同 上
笠原亨	同 上
渡辺裕和	同 上
金成浩司	同 上
鈴木聡	同 上
千田伸彦	同 上
渡邊亮輔	同 上
林原武稔	同 上
布施利一	同 上
本花田大	同 上
鈴木良幸	同 上
三角衡一郎	九州大学大学院工学研究科土木工学専攻

特 別 会 員

4級 東日本旅客鉄道 仙台工事事務所 仙台市五橋1-1-1
 東海旅客鉄道 名古屋市中村区名駅1-1-4
 三省建設 大阪支店 大阪市港区田中2-14-13

新 刊 紹 介

土質解析法

山口 柏樹著

物事を論理的に考え、体系的に整理する上で、数学は有力な手段となりうるが、これを縦横に駆使して土質力学上の諸問題を巧みに解説しているのが本書の特徴であろう。内容は、浸透、圧密、せん断の3つに大別されるが、浸透に関しては、非定常透水の問題について解析的解法の極致ともいえる興味ある例がいくつか示されている。圧密についても、従来直観的にしか把握されなかった諸点につき、見事な解析的説明が与えられている。せん断強度と変形については、個別に展開されてきたいくつかの物の考え方の間の関連性が明らかにされ、統一化が試みられている。

最近では、電算の利用が普及し、種々の問題に対して数値解が直接容易に求められるようになった。その結果、数

学を利用した解析的アプローチが軽んぜられる風潮があるが、これは、土の諸現象に対する物理的理解の軽薄化と、ひいては、工学的諸問題に対する正しい判断力の減退を招く恐れをはらんでいるといえよう。このような傾向への反省と同時に、クラシックなアプローチへの郷愁を感じさせてくれるのが本書の持味であると思われる。

本書は、永年にわたる教育経験の成果の一つとして、著者が名古屋大学を退官された際にとりまとめられたものである。平素、名著“土質力学”に親しく接している我々にとって、その姉妹版ともいえる本書への興味は尽きないものがあり、熟読することによっていろいろと開眼させられる内容を多く含んでいる。このような書物を公にされた著者に対し、深く敬意を表したいと思う。

(石原研而)

A5判 173ページ 1987年2月発行
 定価 2,900円 技報堂出版 電話 03-816-1611